

《扶育願書はダウンロードした A4 用紙サイズの全4ページを使用》

●必ず黒インク万年筆または黒ボールペンで洩れ落ちのないよう楷書で記入すること。(サインペンは不可)

※印欄には記入しないこと。

令和7年度《高校・高専》 扶 育 願 志願要項、扶育願書の書き方をよく読んでください。		※	決定	※	教 区 受理番号	※
内定	※				受理番号	※

氏名	フリガナ				男・女	教 区					直 属 教 会				
	平成 年 月 日生					支 部					所 属 教 会				
保護者氏名	フリガナ				保護者住所	電話 ()									
	昭和・平成 年 月 日生														
志 望 学 校					扶育開始	通学区分					扶 育 種 目				
国 公 私 立 (○をつける) 全 日 制 ・ 定 時 制 [修業年限 年制]					第 学年	イ、学寮より通学 ロ、自宅より通学 ハ、() より通学 (予定のものに○をつける)					おやさと管内の高校 a、学校納金、寄宿費 b、学校納金、寄宿費補助 c、学校納金 (希望するものに○をつける) 全国各地の高校 学資補助				
本人の略歴 令和 年 月 中学校 卒業 予定 その他 []															
お道の行事参加状況 (小・中学校の間) ◇こどもおちばがえり ・行事参加 (回参加) ・少年ひのきしん隊 (回参加) ・わかぎおちばひのきしん (回参加) ・他 []					◇教会や教区の行事 ・よく参加していた ・時々参加していた ・参加したことがない 行事内容 [] ◇他 []										
扶育を願い出るにあたっての保護者の思い					志望学校選定の動機 (本人記入のこと)										

保 護 者 欄				
氏名	1. 父 2. 母 3. その他 ()	保護者からみた 本人の続柄		
立場	※該当するものすべてに ○ をつける A. 本部在籍者 E. 直属教会長 F. 直属教会長後継者 G. 直属教会役員 I. 直属教会准役員 J. 直属教会住み込み人 K. 分教会長 L. 分教会長後継者 M. 布教所長 S. 教人 T. ようばく U. 別席運び中 V. 別席を運んでいない W. 本部勤務 X. 詰所勤務			
	立場が布教所長の場合：ようばく数 [名] 布教所名 [布教所]			
現在の状況	父 ※該当箇所に○をつけ、該当の [] 内に記入	母 ※該当箇所に○をつけ、該当の [] 内に記入		
	1. 道専務 (おたすけ・布教活動以外での収入がない) 2. 道の御用の他に就業している 3. 職業専務 4. 主夫 5. その他 []	1. 道専務 (おたすけ・布教活動以外での収入がない) 2. 道の御用の他に就業している 3. 職業専務 4. 主婦 5. その他 []		
	2. 3. の場合、以下の該当箇所に○をつける イ) 正社員 ロ) 派遣・契約社員 ハ) パート・アルバイト・手伝い …… 週 [] 時間 ニ) 自営業 [業種:] ホ) その他 []	2. 3. の場合、以下の該当箇所に○をつける イ) 正社員 ロ) 派遣・契約社員 ハ) パート・アルバイト・手伝い …… 週 [] 時間 ニ) 自営業 [業種:] ホ) その他 []		
	住居 1. 所属(自)教会 4. 詰所 2. 上級教会 5. その他 3. 布教所	住居 1. 所属(自)教会 4. 詰所 2. 上級教会 5. その他 3. 布教所		
備考	註：就業状況など、特記事項があれば記入のこと。 又、父母に事情(離婚、別居等)のある場合は、その年次、及び父母(祖父母等)のいずれが親権者であるのかを明記し、実際の養育について現況を記入のこと。			

家の教歴欄	保護者の教歴欄
<ul style="list-style-type: none"> ●本人の家の教歴について記入のこと ●信仰始(入信の動機)は具体的に記入のこと ●初代の信仰始から主要な事項を年代順に元号(昭和、平成など)で記入のこと ●本人からみた続柄を記入のこと 	<ul style="list-style-type: none"> ●教会長、布教所長、役員は拝命年次を記入のこと ●本部勤務(部署名)、詰所勤務は開始年次を記入のこと
年 信仰始 [入信の動機]	年
年	年
年	年
年	年
年	年
年	年
年	年
年	年
年	年
年	年

家族の状況欄

- 本人の祖父母、父母、兄弟姉妹について全項目に該当事項を記入のこと。
- 出直者については、続柄欄に亡祖父、亡父のようにし、「おさづけの理拝戴」「教人登録」「教会における立場」は必ず記入のこと。

続柄	氏名	おさづけの理拝戴年次 (運び中の席数)	教人登録年次	教会における立場	道専務・アルバイト・パート・定職等の別	最終卒業学校または 在学学校・学年	保護者との同居・別居	扶育の有無
本人	H 年 月 日生	/	/				同居・別居	有・無
父	S・H 年 月 日生	年 (席)	年			卒	同居・別居	有・無
母	S・H 年 月 日生	年 (席)	年			卒	同居・別居	有・無
祖父	T・S 年 月 日生	年 (席)	年			卒	同居・別居	有・無
祖母	T・S 年 月 日生	年 (席)	年			卒	同居・別居	有・無
	S・H・R 年 月 日生	年 (席)	年				同居・別居	有・無
	S・H・R 年 月 日生	年 (席)	年				同居・別居	有・無
	S・H・R 年 月 日生	年 (席)	年				同居・別居	有・無
	S・H・R 年 月 日生	年 (席)	年				同居・別居	有・無
	S・H・R 年 月 日生	年 (席)	年				同居・別居	有・無
	S・H・R 年 月 日生	年 (席)	年				同居・別居	有・無
	S・H・R 年 月 日生	年 (席)	年				同居・別居	有・無
	S・H・R 年 月 日生	年 (席)	年				同居・別居	有・無
	S・H・R 年 月 日生	年 (席)	年				同居・別居	有・無

●所属（または上級）教会長の署名欄には、

- ① 保護者が所属教会長の場合、もっとも近い上級教会長が署名すること。
- ② もっとも近い上級教会が直属教会（大教会・本部直属分教会）の場合、保護者が教会長の立場でも署名すること。
- ③ 保護者が布教所長・教人・ようぼく等の場合、所属教会長が署名すること。

一般財団法人 天理教一れつ会

理事長 松村 登美和 殿

貴会の扶育を頂きたいと存じますので審議をお願いいたします

令和 年 月 日

.....
(自筆署名のこと)

本人 現住所
氏名

印

.....
(自筆署名のこと)

保護者 氏名

印

上記の者このたび扶育出願にあたり、本願に偽りのないことを連署をもって保証いたします

.....
(自筆署名のこと)

住所

所属(または上級) 天理教
教会長
氏名

職印

.....
(自筆署名のこと)

天理教
直属教会長
氏名

職印

証明書記載のお願い

この証明書は、一般財団法人天理教一れつ会の奨学金支給の書類審査のためにのみ使用し、これ以外には使用いたしません。下記の点に留意していただき、記載・提出くださいますようお願いいたします。

- (1) この用紙を用い、必ず密封してください（開封無効）。
- (2) 封筒の宛先は、「一般財団法人 天理教一れつ会」宛としてください。
- (3) 証明書の封入は、折り曲げていただいても結構です。

以上

※参考：一般財団法人天理教一れつ会の定款（目的及び事業）は次の通りです。

- (目 的) 第4条 この法人は、経済的理由等により就学が困難な天理教信者や一般家庭の子弟に対して就学援助を行い、天理教の教えに基づいた指導育成によって社会に有用な人材を輩出し、より良い社会形成の推進に貢献することを目的とする。
- (事 業) 第5条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- (1) 奨学金の支給
 - (2) 奨学金の支給を受ける学生生徒に対する指導育成及び助言
 - (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項各号の事業は、本邦及び海外において行うものとする。

証 明 書

フリガナ		性別	生年月日		
生徒氏名		男・女	平成	年	月 日生
卒業年月	令和 年 月 (卒業予定・卒業)				

学習成績の評価				総括的所見					
学年 教科	第1学年	第2学年	第3学年 (1学期)	クラブ活動及び特別活動の記録					
	国語								
社会				第1学年					
数学				第2学年					
理科				第3学年					
音楽				出欠状況					
美術				学年	区分	出席すべき日数	欠席日数	出席日数	備考
保健体育				第1学年					
技術・家庭				第2学年					
英語				第3学年 (1学期)					
評価方法：〔 〕段階法 その他				■第3学年に関する記入欄は、可能な範囲での記入で結構です。					

本書の記載事項に誤りのないことを証明します。

令和 年 月 日

学校所在地

学校名

学校長名

記載者氏名

職印